

ご挨拶



京都大学総長 尾池 和夫

情報基盤技術の発展に貢献する人材を養い、発展を支える研究を行うこの教育研究拠点が、めざましい成果をあげています。知識社会の基本となる情報の生産、共有、利用のしくみの発展に柔軟に対応し、あらゆる分野と連携して活動します。ご支援をお願いします。



京都大学大学院
情報学研究科長 船越 満明

情報学研究科の多くの構成員が参加している本プロジェクトは、知識社会の基盤構築のための世界的な拠点として大きく発展しつつありますが、今後も人材育成、国際交流、地域連携などを通して、知識社会の発展に大きく貢献できるものと期待しております。



拠点リーダー 田中 克己 (情報学研究科社会情報学専攻教授)

本COEプロジェクトの目標は、知識社会基盤構築のための国際水準の研究拠点形成と京都情報学の確立です。知識の生成・検索・利活用・流通のための情報技術の持続的な研究開発と、その成果の社会における実証が重要と考え、京都大学の得意分野である知能メディア・データベース・基礎理論を有機的に組み合わせ、国際性・フィールドワークを重視して研究を行っています。さらに、産学連携と人材育成に特色のある活動プログラムを推進しています。

主にデータベースとマルチメディア 情報システムの研究に従事。ACM Transaction on Database System(TODS) Area Editor、情報処理学会論文誌:データベース共同編集委員長など歴任。情報処理学会フェロー、日本データベース学会副会長。



サブリーダー 福嶋 雅夫 (情報学研究科数理工学専攻教授)

私たちの社会を安全で快適なものにするためには、情報基盤の一層の充実が不可欠です。このCOEプロジェクトでは、新しい情報基盤技術の研究開発を行うとともに、知識社会を様々な角度から支える独創的な人材を養成します。

著書「非線形最適化の基礎」(朝倉書店)など。学術論文誌「Pacific Journal of Optimization」(2005年創刊)共同編集委員長、「SIAM Journal on Optimization」など9つの国際学術論文誌の編集委員。日本オペレーションズリサーチ学会フェロー。

研究組織

研究教育活動
評価対象者

拠点リーダー 田中克己

情報学研究科(社会情報学専攻)教授

サブリーダー 福嶋雅夫

情報学研究科(数理工学専攻)教授

石田亨

情報学研究科(社会情報学専攻)教授

中村佳正

情報学研究科(数理工学専攻)教授

乾敏郎

情報学研究科(知能情報学専攻)教授

松田哲也

情報学研究科(システム科学専攻)教授

杉江俊治

情報学研究科(システム科学専攻)教授

松山隆司

情報学研究科(知能情報学専攻)教授

西田豊明

情報学研究科(知能情報学専攻)教授

美濃導彦

学術情報メディアセンター教授

荒井修亮

情報学研究科(社会情報学専攻)助教授

英保茂

情報学研究科(システム科学専攻)教授

岡部寿男

学術情報メディアセンター教授

岩井原瑞穂

社会情報学専攻助教授

奥乃博

情報学研究科(知能情報学専攻)教授

片井修

情報学研究科(システム科学専攻)教授

小林茂夫

情報学研究科(知能情報学専攻)教授

河原達也

学術情報メディアセンター教授

事業推進者

佐藤理史

情報学研究科(知能情報学専攻)助教授

柳浦睦恵

情報学研究科(数理工学専攻)講師

産学協同

堀場雅夫

堀場製作所会長

知的財産

北川善太郎

京都国際高等研習所長

医学・バイオ

本庶佑

京都大学医学研究科長

地域

高木壽一

京都市副市長

経済・ビジネス

吉田和男

京都大学経済学研究科教授・京都大学評議員

情報産業

下野雅承

日本アイ・ビー・エム㈱取締役

顧問

外国人顧問

Eric Neuhold

ドイツ国立研究所
ダルムシュタット所長

James Hendler

Maryland大教授・研究所長

Jeffrey Ullman

スタンフォード大教授

Peter Hammer

Rutgers大・RUTCOR所長

Ya-xiang Yuan

中国科学院・数学与系統
科学研究院副院長

COE研究員
フルタイム
教授・助教授相当

鷺見和彦

教授相当

高田秀志

助教授相当

荒井幸代

助教授相当